

マリンチャレンジプログラム

関東大会 ～海と日本PROJECT～

日時 2017年8月9日(水)
10:00～17:15

場所 TEPIA先端技術館

〈住所〉東京都港区北青山2-8-44

発表順

- 1 膜を用いた“海水淡水化”への挑戦
～イオン分析による膜の性質の調査～
国立大学法人 千葉大学教育学部附属中学校
- 2 水産王国やまなし
～山梨の経済を救いマス～
山梨県立甲府第一高等学校
- 3 藻類の胞子が濁流の中でどのようにして接着するのか
～水中用瞬間接着剤の発明にむけて～
浦和実業学園中学校
- 4 小型ROVについて
富山県立滑川高校
- 5 トビハゼが転がる方向に規則はあるのか
かえつ有明高等学校
- 6 カワモズクの培養
浦和実業学園高等学校

- 7 人気の高い擬似餌から考察する
肉食魚類の嗜好性
栃木県立馬頭高等学校
- 8 緑色光照射が及ぼす魚類の成長速度の変化
浦和実業学園高等学校
- 9 水の輪の研究
大磯町立大磯中学校
- 10 サンゴと共生藻に関する研究
玉川学園
- 11 河口湖の個体群の調査
山梨県立吉田高等学校
- 12 三浦の海の生物種の変化
三浦市立初声中学校
- 13 水中探査のためのロボットの製作
早稲田大学本庄高等学院

当日スケジュール

10:00	開会式
10:20	口頭発表 ①～④
11:20	休憩
11:30	口頭発表 ⑤～⑧
12:30	昼食
13:15	口頭発表 ⑨～⑬
14:30	休憩
14:40	研究者講演
15:20	休憩・移動
15:30	ポスター交流会
16:30	表彰式・閉会式
17:15	閉会

講演者紹介

「生物の特徴を活用したロボットによる海底掘削探査の実現」

只見 侃朗

中央大学大学院 理工学研究科 精密工学専攻
バイオメカトロニクス研究室 博士前期課程1年

審査員紹介

📍…専門分野・キーワード

〈審査員長〉

高橋 宏之

株式会社リバネス
知識創業研究センター センター長

📍分子生物学、遺伝子

〈審査員〉

都筑 幹夫

一般社団法人
日本先端科学技術教育人材研究開発機構 代表理事
東京薬科大学 生命科学部 名誉教授

📍植物生理学、藻類

佐藤 孝子

海洋研究開発機構 横浜研究所 地球情報基盤センター
技術副主幹

📍極限環境生物、微生物の圧力適応

中林 良和

三井造船株式会社 船舶・艦艇事業本部
特機・水中機器部 主管

📍工学、水中ロボット(ROV)